

病院だより

Vol.382

SHOWA Medical University Fujigaoka Hospital

「精神科病棟のない 精神科の仕事」

Topics

「精神科病棟のない精神科の仕事」

精神神経科 助教：石井 宏明

Report

患者さんからのご意見・ご要望

編集後記

「針供養」

広報・公開講座委員会 岡部 圭吾

Information

藤が丘駅前地区のまちづくりが本格始動！

February

2
月号



SHOWA Medical University Fujigaoka Rehabilitation Hospital



昭和医科大学

精神科病棟のない精神科の仕事

藤が丘病院 精神神経科 助教：石井 宏明

突然ですが、藤が丘病院は精神科病棟のない総合病院です。病棟がないのに精神科があると、「何をしているんですか？」と思われるのも無理はありません。外来ありませんから、「仕事していないのでは」と言われても仕方がないかもしれません。もしかすると、病院のスタッフからもそう思われている可能性すらあります。

私たち精神科医は、主にリエゾン精神医療を担当しています。入院中の患者さんが、不眠やせん妄などの精神症状を呈した際に、主科の先生方の治療を支える役割です。

精神科病棟を持たない総合病院の精神科は、目立たないことが一番です。もし精神科が目立っている病院があるとしたら、それは決して良い状態とは言えないのではないかと、私は思っています。

せん妄について

「(病棟もない、外来もない)藤が丘病院精神科で、病院だよりを書いて、力を入れていることを紹介してほしい」

そう言われたとき、正直に言えば「藤が丘病院の事務がせん妄になっているのでは？」と思いました。外来もないのにアピールすることがあるのか、と。

そうお伝えしたところ、責任者のような方が出てきたため、こうして文章を書いています。どうやら藤が丘病院の事務は【せん妄】ではなかったようです。

せん妄とは、たとえるなら赤ちゃんの夜泣きの大人版のようなものです。

あるいは、小さな子どもが慣れない田舎の家に泊まり、夜が怖くて泣いてしまう——その大人版とも言えるかもしれません。

入院は誰にとっても不安で、怖いものです。それが普通です。全員がせん妄になるわけではありませんが、全身状態や薬剤の影響などにより、リスクが高まることがあります。せん妄は一時的な状態であり、全身状態が改善すれば回復します。

だからこそ、せん妄にならないに越したことはありませんし、精神科病棟のない総合病院で精神科医が目立たないことに越したこともないのです。

周産期メンタルヘルスについて

私自身は、昭和医科大学横浜市北部病院での勤務が長く、重症精神疾患や周産期に関わる症例を数多く経験してきました。重症精神疾患の話は、病院だよりの読者の多くの方には直接関係しないと思いますので、ここでは割愛します。

北部病院の産科の先生方は、非常に困難な症例にも真摯に向き合っておられ、本当に頭が下がる思いです。精神科では産科カウンセリングを行い、産科・NICUスタッフと連携しながら、お母さんと赤ちゃんにとってより良いお産を目指しています。

私自身も、院外で県央エリアの産婦人科と精神科の連携に携わっていますが、北部病院の産科・精神科・NICUの連携体制は、一つの良いモデルだと感じています。

周産期メンタルヘルスは、個人的には精神科医の総合格闘技だと思っています。薬物療法だけでなく、心理社会的な視点や多職種連携など、さまざまなアプローチが必要です。

近隣の産科クリニックの先生方、周産期でお困りの際には、北部病院へのご紹介をご検討いただければ幸いです。



患者さんからのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	回答・改善内容等
<p>この病院で働く清掃スタッフさん（私は4階のスタッフさんが特に素晴らしいと思いました）、患者の失敗して汚したトイレや、髪の毛の多い洗面台をいつも清潔にしてくださって頭がさがります。皆さんのおかげで気持ちよく入院生活が送れました。高齢のスタッフさんが多かったですが、すごいバイタリティだと感銘を受けました。</p>	<p>お褒めの言葉を頂戴いたしまして有難うございます。働く者にとりまして一番励みになります。患者様に喜ばれた一例として他のメンバーにも共有して業務に励むようにいたします。</p> <p style="text-align: right;">【昭友商事】</p>
<p>一週間以上、外を見ていません。まだ先が有るので外の見える窓際へ移りたいです。目にも良くないし陽にも当たりたいし。遠くを見たいし、精神的にも辛いかな。あ、それに暑い。</p>	<p>この度は、長期入院により外の景色が見られず、ご不便や精神的にも辛い思いをされている患者様のお気持ちに寄り添った関わりが十分ではなかった点を真摯に受け止めております。申し訳ございませんでした。患者様のご意見は病棟スタッフで共有し、今後も患者様に安心して治療に専念していただける病棟づくりに努めてまいります。</p> <p>当院では窓際のベッドが限られており、すぐにご案内することが難しい状況の場合もございますが、できる限りご希望に沿えるよう、調整させていただきます。貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">【看護部】</p>
<p>食事について 1、衣：具が7：3のようなフライはやめてください。衣は要りません。 2、全体的に塩分が多い 3、味噌汁とスープ両方は要りません。 高齢者は少量で良いので質の良いものにしてください。</p>	<p>この度は、貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>お食事についてご期待に沿える内容ではなかった点、誠に申し訳ございません。</p> <p>病院の食事は、患者さんの病状や治療に合わせ、医師の指示のもと治療の一環として提供しております。特定の食塩制限がない患者さんにおきましても入院中の栄養状態の維持・改善の観点から、食塩量を計算して調理しております。ご家庭の味付けと異なる点も多く、この度の塩分が多いというご指摘は、味付けのバランスやメリハリがご期待に沿えなかったものと重く受け止めております。</p> <p>いただきましたご意見に基づき、献立内容の改善に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">【栄養科】</p>

編

集

後

記

針供養

2月の行事といえば、節分・バレンタインデーとありますが、関東では2月8日は針供養になります。針供養は、折れたり古くなった針を供養する伝統行事であり俳句の季語にもなっています。針供養を詠んだ俳句には、針への感謝や裁縫の上達を願う気持ち、様々な情景が描かれています。自分達が日々使う道具を大切に感謝する心、美しい文化だと思います。道具を大切にすることは、自分の仕事そのものに敬意を払うことです。毎日使う道具も大切に扱い、感謝して手入れをすることが大切です。道具の手入れは「準備」であり、「心の手入れ」でもあります。だからこそ毎日のルーチンとして、ぜひ行ってみてください。

広報・公開講座委員会：岡部 圭吾（藤が丘病院 放射線技術部）

藤が丘駅前地区のまちづくりが本格始動！

～ 都市計画の決定＆土地区画整理事業の認可 ～

藤が丘駅前地区は、交通の利便性と緑豊かな環境を兼ね備え、医療が充実したエリアとして、多くの市民に親しまれています。しかし、老朽化した施設や土地利用の課題を抱えており、持続可能な都市環境の整備が求められていました。

横浜市による今回の都市計画決定および土地区画整理事業認可により、以下の取り組みを東急株式会社と昭和医科大学で進めてまいります。

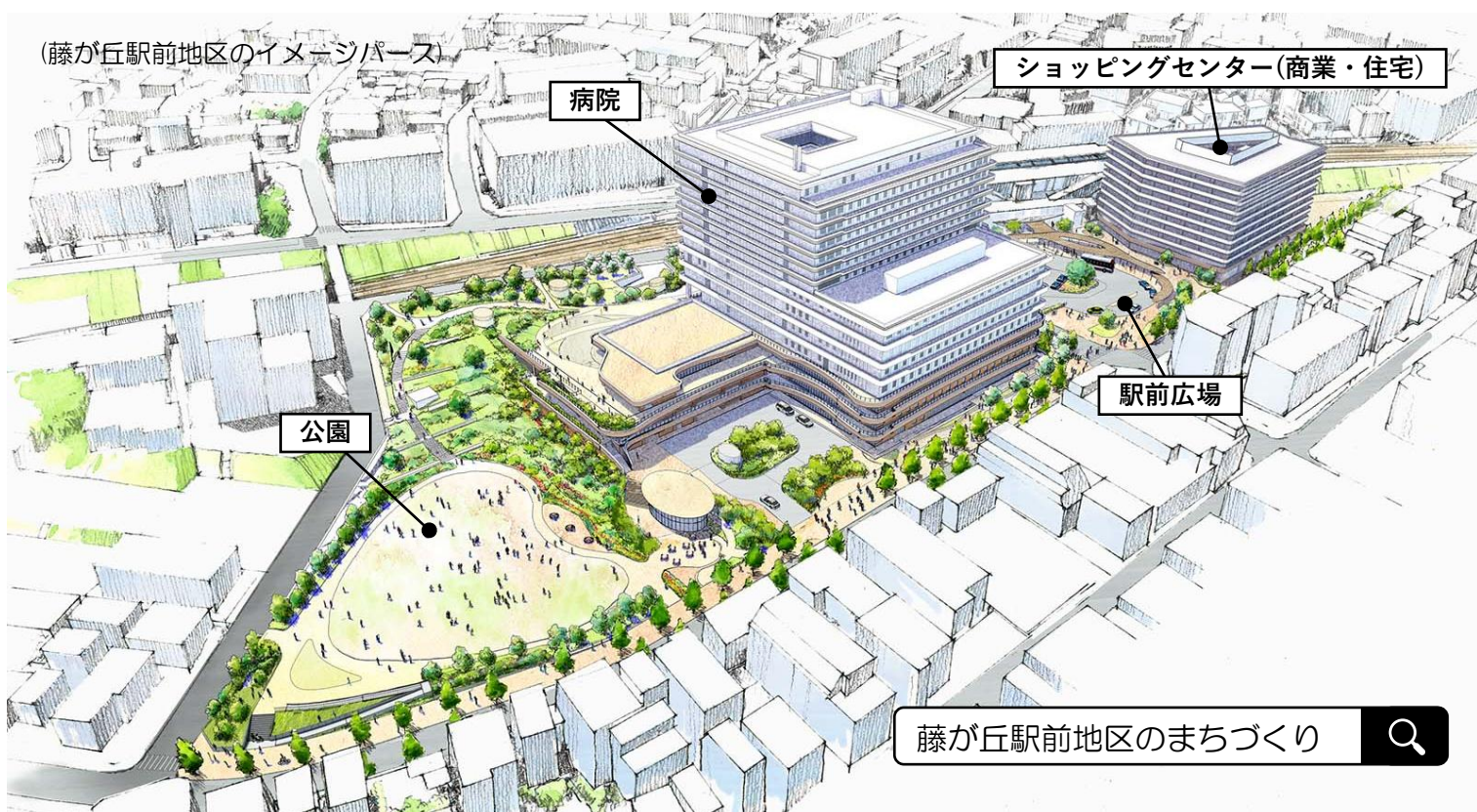
【取り組み】

- ・ 昭和医科大学藤が丘病院の建替えおよび公園の再整備
- ・ 藤が丘駅前ショッピングセンターの建替え
- ・ 駅前広場の再整備：安全性と快適性を高める空間づくり
- ・ 緑あふれる歩行者ネットワークの強化：駅と周辺施設や公園をつなぐスムーズな動線

これらの取り組みにより、藤が丘駅前は「駅前施設・病院・公園」が一体となった「オープンスペース、病院、駅前の商業等が連携した、藤が丘らしい駅前拠点の形成」へと歩み始めます。

藤が丘病院は、その一端を担う存在として、従前から取り組んでまいりました高度急性期医療や災害拠点病院等の役割をこれからも地域の基幹病院として、継続的に全うできるように、新病院の建替えおよび公園の再整備等を進めてまいります。

(藤が丘病院再整備準備室)



※イメージパースは現時点での想定であり、今後変更される可能性があります。

藤が丘病院
藤が丘リハビリテーション病院

2月号

February 2026

「病院だより」通巻第382号
令和8年2月1日発行
【毎月発行】

発行責任者：昭和医科大学藤が丘病院 病院長 鈴木 洋

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

編 集：広報・公開講座委員会



病院だより



昭和医科大学